

2024年(令和6年)度 事業報告書

2024年(令和6年)4月1日～2025年(令和6年)3月31日

特定非営利活動法人 Earth as Mother 三重

1 事業実施の概略

特定非営利活動法人 Earth as Mother 三重は、Earth as Mother の理念である【「全ての人と自然と共に生きる」事を基本とした「生活様式」を6つの理念を基に構築し、未来の子供たちに心も身体も健康に笑顔で暮らせる地球を渡していく事】へ賛同し、全国6拠点の一つである三重においても、6つの理念への取り組みを行う事を目的として設立した。

2024年(令和6年)度も引き続き、三重県松阪市を中心として活動。

未来の子供たちが安全で安心して食せるおいしい作物づくりを中心とした真農業の推進と、地球環境にやさしいコミュニティを創造することをテーマに、活動理念の普及や賛同者を着実に得ることを目的として各種イベントを実施。

食育・食農イベントとして、「在来大豆の植え付け体験&究極の味噌を食べてみよう」「野菜収穫と一から作るピザづくり」「完全オーガニック味噌づくり」を行い、農薬、化学肥料、除草剤を一切使用しない昔ながらの手作業による農作業の方法とそれによる環境保全効果、安全な食による健康効果、手作りの食と共食の楽しさ、今後の世の流れの中でのコミュニティ構築の重要性を伝える。「大豆収穫体験&親子でチャレンジ！味噌汁づくり」は参加者が無く中止。

環境セミナーとして「マザリーアースプロジェクトセミナー」を2回実施。主に会員および当会拠点である大石町の住民の方々を対象に当会理念や活動を紹介し、賛同を得る。

寺子屋ものづくりとして、日本古来の持続可能な染料である藍染めの研究を開始するため、原料であるタデアイの栽培研究を実施。一定の収量予測が可能となる。

「在来大豆の植え付け体験&究極の味噌を食べてみよう」では、昔ながらの手作業による畝立てと在来大豆「みさと在来」の播種を実施。昼食時に当会イベントで作った完全オーガニック味噌と市販の味噌との食べ比べも行い、本物の味を伝えた。

「野菜収穫と一から作るピザづくりワークショップ」では、食農活動として完全オーガニックの畑で手作業による野菜ごとの収穫方法を伝え、自然の中での虫取りも楽しんだ。食育活動としては完全オーガニック小麦粉を捏ねて生地からピザを作る方法、包丁を使った事の無い子供への野菜の切り方指導を実施。市販のピザ生地との食べ比べも行い、本物の味を伝えた。

「完全オーガニック味噌づくり」で使用した材料は固定種、在来種の大豆と米にこだわった。また当会の味噌と市販品の食べ比べを実施し味の違いを伝えた。当会の味噌で作った味噌汁を昼食時に提供。生きた本物の味と健康効果を伝え、食物の安全性と手作りの重要性への理解が広がる。

年間を通じて農作業ボランティアを募集し、参加者に体験を通じて有機循環自然農法による環境保全効果と、安全・安心の作物づくりの方法と健康効果を伝えた。同時に日常でストレスを抱えた参加者のリフレッシュになり、食農活動を通じて、耕作放棄地問題解消の一助となる。

活動報告やイベント告知には、メール、電話、ホームページとSNSを利用。イベントチラシを作成し、各種公共施設への設置や個人間で渡す等で宣伝。

各事業の具体的な内容としては、定款の目的を達成するため、次の事業を実施する。

- ①WEBシステム利用による異業種産業情報・交流を支援する事業。
- ②自然再生と環境の保全活動を支援する事業。
- ③保健、医療、老人福祉及び健康促進事業を支援する事業。
- ④資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業。
- ⑤生活困窮者等就労準備支援、社会的包摂促進に係る事業。
- ⑥食育を推進する事業。
- ⑦農作業の付帯業務・請負及び農具・土壌改良資材の製造、販売事業。
- ⑧その他この法人の目的を達成するために必要な事業。

2 事業の実施に関する事項(特定非営利活動に係る事業)

①WEBシステム利用による異業種産業情報・交流を支援する事業

(ア) 事業内容

会の広報的情報発信を支援。

○ホームページ、SNS にイベント案内およびイベント報告を掲載。

○会員および一般向けにメールマガジンを隔月に1回ペースで配信。

○他団体交流として、松阪市市民活動センター、松阪市大石地区市民センターにイベントチラシ配布の協力を依頼。

(イ) WEBシステム利用による異業種産業情報・交流を支援する事業

(1) 開催日および講師等

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	実施 日時	実施場所	従事者の 人数	(1) 受益対象者 の範囲 (2) 人数	事業費 の額 (単位:円)
① WEBシステム 利用による異業 種産業情報・交 流を支援する事 業 (WEBシステ ム)	会の広報的情報発信 ホームページ、SNS、 メールマガジン等による 情報発信	2024年(R 6)4月1日～ 2025年(R 7)3月31日 の期間で不 定期に発信	ホームペー ジ、SNS、 メールマガ ジン	6人 (1回/隔月)	(1) 当会活動に 関心がある 市民、会員 (2) 不特定 多数	0 円

(2) 総費用(無償ボランティア 6人)

総合計 0円

(3) 収益

総合計 0円

(4) 反省点・改善ポイント

今年度は新たに三重県庁への依頼で県政メールマガジンにて情報発信を実施。イベント参加者増加に繋がった。SNSでの告知は主にfacebookを利用。SNSやメールマガジンなどオンラインでの告知は、

計画的な発信が実施できず前年度よりも回数が減ったため、次年度以降は計画通りに発信できるよう打合せの上、事前準備を徹底する。

チラシでの告知は、情報が求められる場所に届いておらず反応が薄い。次年度以降は積極的に設置協力者を探す。

②自然再生と環境の保全活動を支援する事業

(ウ)事業内容

環境セミナーとして6月16日に第10回マザリーアースプロジェクトセミナー、3月2日に第11回マザリーアースプロジェクトセミナーを実施。参加者に対して当会の活動テーマ、理念、方針、事業内容を紹介し、理解と協力を訴える。

寺子屋ものづくりとして、日本古来の持続可能な染料である藍染めの研究を開始するため、原料であるタデアイの栽培研究を実施。

(エ)事業内容 環境セミナー

- 6月 第10回マザリーアースプロジェクトセミナーでは、アースアズマザーの紹介動画を放映した後、理事の村野政章によるセミナーと、理事長の市川美奈による三重独自のマザリーアースプロジェクトの説明と活動紹介を実施し、賛同を得る。参加者とともに大石町の未来について積極的に交流。
- 3月 第11回マザリーアースプロジェクトセミナーは、地域住民を対象に実施。副理事長より大石町の今後の計画等含む活動紹介を実施。参加者に賛同と期待が広がり、地域の農業・福祉に関して住民の生の声を聞けるなど、今後の活動に重要なヒントが得られ、有意義な交流が出来、それにより賛助会員が3名入会。

(オ)自然再生と環境の保全活動を支援する事業 環境セミナー

(1)開催日および講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	(1) 受益対象者の範囲 (2) 人数	事業費の額 (単位:円)
② 自然再生と環境の保全活動を支援する事業 (環境セミナー)	第10回マザリーアースプロジェクトセミナー アースアズマザーグループの理念、活動紹介	2024年 (R6) 6月16日 14:20～ 15:50	当会 事務所	3人	(1) 当会活動に関心がある 市民、会員 (2) 5人	400円
② 自然再生と環境の保全活動を支援する事業 (環境セミナー)	第11回マザリーアースプロジェクトセミナー アースアズマザーグループの理念、活動紹介	2025年 (R7) 3月2日 13:30～ 16:30	大石町 谷区 集会所	2人	(1) 当会活動に関心がある 市民、会員 (2) 7人	0円

(2)総費用(無償ボランティア 5人)

総合計 9,400円

(内訳)

●第10回マザリーアースプロジェクトセミナー

・印刷製本費（事業） 400円

●建物減価償却

・減価償却費（事業） 9,000円

(3)収益

総合計 5,700円

(内訳)

●第10回マザリーアースプロジェクトセミナー

・参加費 5,000円(1,000円×5人)

●第11回マザリーアースプロジェクトセミナー

・参加費 700円(100円×7人)

(4)反省点・改善ポイント

6月セミナーでは当会活動原点からの詳細説明を行い、結果として既存会員の共感が得られ、その後の活動参加へと繋がる。

3月セミナーは、住民を対象に絞った点は良かった。地域住民の方々への意識付けが少なく、参加者の予定が変わる等で参加が少なかった。事前から計画的に積極的宣伝を行う。

**(カ)事業内容 寺子屋ものづくり**

○寺子屋ものづくりとして、日本古来の持続可能な染料である藍染めの研究を開始するため、原料であるタデアイの栽培研究を約1.6aの畑の一部にて実施。結果として約8キロの乾燥葉を得られ、次年度以降に向けて一定の収量予測が可能となる。栽培は有機循環自然農法で行い、地域の環境保全活動に貢献。

(キ) 自然再生と環境の保全活動を支援する事業 寺子屋ものづくり

(1) 開催日および講師等

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	実施 日時	実施場所	従事者の 人数	(1) 受益対象者 の範囲 (2) 人数	事業費 の額 (単位:円)
② 自然再生と環境の保全活動を支援する事業 (寺子屋ものづくり)	タデアイ栽培研究 藍染め研究の一環としての原料栽培研究	2024年 (R6) 4月1日～ 2025年 (R7) 3月31日	松阪市大石町内の圃場	2人	(1) 当会活動に関心がある市民、会員 (2) 0人	10,784 円

(2) 総費用(無償ボランティア 2人)

総合計 10,784円

(内訳)

・消耗品費 (事業) 1,784円

●建物減価償却

・減価償却費 (事業) 9,000円

(3) 収益

総合計 1,784円

(内訳)

・受取寄附金 1,784円 (現物寄附)

(4) 反省点・改善ポイント

タデアイ栽培未経験のため方法やスケジュール調整が分からず、作業の遅れや成育不良に。今回の失敗経験を改善点とし、次年度以降に活かす。

③保健、医療、老人福祉及び健康促進事業を支援する事業

本年度は実施せず。

④資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業

(ク) 事業内容

食農イベントとして「在来大豆の植え付け体験」、「野菜収穫体験」を実施。「大豆収穫体験」は参加者が無く中止。

農事業として農作業ボランティアの募集を実施。

いずれの事業も松阪市大石町の田畑で実施。

(ケ)事業内容 食農イベント

○5月 「在来大豆の植え付け体験」を実施。昔ながらの手作業による畝立てをし、在来大豆「みさと在来」を播種。完全オーガニックの畑で裸足で畝立てをした参加者からは、「気持ち良い、デトックスになる」との感想を得られた。2歳のお子様も生まれて初めての種まきをし、親御様に子供の成長が見えたと言われた。

○9月 「野菜収穫体験」を実施。完全オーガニックで育てた野菜の収穫を手作業にて行い、野菜ごとの収穫方法の違いを実践を通じて伝えた。自然の中での虫取りも楽しんだ。イベントを昨年度の8月から9月に移動したのは参加者増に繋がったが、あいにく連日の酷暑で野菜が生育不良となり、あまり多く収穫出来ず。

○10月 「大豆収穫体験」については開催案内を広報したが、参加者が無く中止。

(コ)資源循環型・環境保全経済を推進するコミュニティの構築事業 食農イベント

(1)開催日および講師等

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	実施 日時	実施場所	従事者の 人数	(1) 受益対象者 の範囲 (2) 人数	事業費 の額 (単位:円)
④ 資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業 (食農イベント)	在来大豆の植え付け体験 手作業による大豆の植え付けおよび育て方の説明	2024年 (R6) 5月19日 9:30～ 11:30	松阪市大石町内の圃場	2人	(1) 自然との共生に、安全安心な食育・食農に関心がある市民、会員 (2) 6人	280 円
④ 資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業 (食農イベント)	野菜収穫体験 手作業による収穫方法の説明と実践	2024年 (R6) 9月22日 9:00～ 10:30	松阪市大石町内の圃場	3人	(1) 自然との共生に、安全安心な食育・食農に関心がある市民、会員 (2) 19人	780 円
④ 資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業 (食農イベント)	大豆収穫体験 開催中止	2024年 (R6) 10月19日 9:00～ 10:30	松阪市大石町内の圃場	0人	(1) 自然との共生に、安全安心な食育・食農に関心がある市民、会員 (2) 0人	550 円

(2)総費用(無償ボランティア 5人)

総合計	10,610円
-----	---------

(内訳)

●在来大豆の植え付け体験

・保険料 (事業)	280円
-----------	------

●野菜収穫体験

・賃借料 (事業)	500円
-----------	------

・保険料 (事業)	280円
-----------	------

●大豆収穫体験

・広告宣伝費 (事業)	270円
-------------	------

・保険料 (事業)	280円
-----------	------

●建物減価償却

・減価償却費 (事業)	9,000円
-------------	--------

(3)収益

総合計	6,250円
-----	--------

(内訳)

◆在来大豆の植え付け体験 参加費

・会 員	450円(150円×3人)
------	---------------

・一般大人 (中学生以上)	600円(300円×2人)
---------------	---------------

・小 人	0円(150円×0人)
------	-------------

・幼 児 (未就学児)	0円(無料×1人)
-------------	-----------

◆野菜収穫体験 参加費

・会 員	600円(200円×3人)
------	---------------

・一般大人 (中学生以上)	4,000円(400円×10人)
---------------	------------------

・小 人	600円(200円×3人)
------	---------------

・幼 児 (未就学児)	0円(無料×3人)
-------------	-----------

(4)反省点・改善ポイント

県のメールマガジンによる告知で参加者が増加。継続的に実施する。



(サ)事業内容 農事業

年間を通じて農作業ボランティアを募集し、参加者に有機循環自然農法による環境保全効果と、安全・安心の作物づくりの方法と健康効果を伝えた。実際の農作業により、耕作放棄地問題解消の一助となった。

(シ)資源循環型・環境保全経済を推進するコミュニティの構築事業 農事業**(1)開催日および講師等**

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	実施 日時	実施場所	従事者の 人数	(1) 受益対象者 の範囲 (2) 人数	事業費 の額 (単位:円)
④ 資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業 (農事業)	農作業ボランティアの募集 有機循環自然農法の普及、耕作放棄地の維持・管理	2024年(R6)4月1日～ 2025年(R7)3月31日 の期間で不定期に実施	松阪市大石町内の圃場	1日あたり 1～2人	(1) 自然との共生に、安全安心な食育・食農に関心がある市民、会員 (2) 9人	0円

(2)総費用(無償ボランティア 9人)

総合計 0円

(3)収益

総合計 0円

(4)反省点・改善ポイント

告知不足により昨年度より新規利用者数が減少。アクティボ以外の宣伝媒体、およびメールマガジンによるリピーターへの呼びかけ頻度を増やす。

年間作業計画を作成し、それに基づいた作業内容の告知を同時に行う。効果的な集客を実施するために本人に直接対話する機会を作り、食育の重要性を明確に伝える事で計画的に個別参加を促す。また、架電リストを作り定期的に声掛けをする。

⑤生活困窮者等就労準備支援、社会的包摂推進に係る事業

本年度は実施せず。

⑥食育を推進する事業**(ス)事業内容**

食育イベントとして、「究極の味噌を食べてみよう」、「一から作るピザづくり」、「完全オーガニック味噌づくり」を実施。「親子でチャレンジ！味噌汁づくり」は参加者が無く中止。

(セ)事業内容 食育イベント

- 5月 「究極の味噌を食べてみよう」を実施。当会イベントで作った完全オーガニック味噌と市販の味噌との食べ比べを行い、本物の味を伝えた。
- 9月 「一から作るピザづくり」を実施。完全オーガニック小麦粉を捏ねて生地からピザを作る方法、包丁を使った事の無い子供への野菜の切り方指導を実施。市販のピザ生地との食べ比べにより本物の味を伝え、土と稲わらで作ったアースオーブンに薪火をくべてピザを焼く体験により、自然のもののみを活用した調理方法を伝えた。
- 10月 「親子でチャレンジ！味噌汁づくり」については開催案内を広報したが、参加者が無く中止。
- 2月 有機循環自然農法で育った地元産の大豆および米こうじ(共に自家採取・固定種)を使用した「完全オーガニック味噌づくり」を実施。当会の完全オーガニックの味噌と市販品との食べ比べを昼食時に提供。生きた本物の味噌の味と健康効果を伝え、完全オーガニックと手作りの重要性への理解が広がった。

(ソ)食育を推進する事業 食育イベント

(1)開催日および講師等

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	実施 日時	実施場所	従事者の 人数	(1) 受益対象者 の範囲 (2) 人数	事業費 の額 (単位:円)
⑥ 食育を推進する 事業 (食育イベント)	究極の味噌を食べてみよう 当会オーガニック味噌と市販品の食べ比べ、オーガニック食の共食による安全な食の啓発	2024年 (R6) 5月19日 11:30～ 13:30	当会 事務所	2人	(1) 自然との共生に、安全安心な食育・食農に関心がある市民、会員 (2) 6人	4,357 円
⑥ 食育を推進する 事業 (食育イベント)	一から作るピザづくり 地産の小麦粉でのピザ生地づくり、包丁の使い方指導、共食体験	2024年 (R6) 9月22日 10:30～ 14:00	当会 事務所	3人	(1) 自然との共生に、安全安心な食育・食農に関心がある市民、会員 (2) 19人	19,076 円
⑥ 食育を推進する 事業 (食育イベント)	親子でチャレンジ！味噌汁づくり 開催中止	2024年 (R6) 10月19日 10:30～ 14:30	当会 事務所	0人	(1) 自然との共生に、安全安心な食育・食農に関心がある市民、会員 (2) 0人	550 円

⑥ 食育を推進する事業 (食育イベント)	完全オーガニック味噌づくり 完全オーガニック大豆と米こうじを使用した味噌の仕込み、当会オーガニック味噌の試食	2025年 (R7) 2月16日 9:30～ 15:00	当会 事務所	3人	(1) 自然との共生に、安全安心な食育・食農に関心がある市民、会員 (2) 7人	13,562円
-------------------------	---	--	-----------	----	---	---------

(2)総費用(無償ボランティア 8人)

総合計 96,794円

(内訳)

●究極の味噌を食べてみよう

- ・仕入 (材料費) 3,640円
- ・広告宣伝費 (事業) 437円
- ・保険料 (事業) 280円

●一から作るピザづくり

- ・仕入 (材料費) 12,811円
- ・通信運搬費 (事業) 858円
- ・消耗品費 (事業) 4,527円
- ・賃借料 (事業) 500円
- ・保険料 (事業) 280円
- ・支払手数料 (事業) 100円

●親子でチャレンジ！味噌汁づくり

- ・広告宣伝費 (事業) 270円
- ・保険料 (事業) 280円

●完全オーガニック味噌づくり

- ・仕入 (材料費) 12,094円
- ・消耗品費 (事業) 908円
- ・保険料 (事業) 560円

●次年度(令和7年度)事業経費

- ・通信運搬費 (事業) 1,500円

●建物減価償却

- ・減価償却費 (事業) 57,749円

(3)収益

総合計 78,400円

(内訳)

◆究極の味噌を食べてみよう 参加費

- ・会 員 2,550円(850円×3人)

- ・一般大人（中学生以上） 3,400円(1,700円×2人)
- ・小 人 0円(850円×0人)
- ・幼 児（未就学児） 0円(無料 × 1人)

◆一から作るピザづくり 参加費

- ・会 員 5,400円(1,800円×3人)
- ・一般大人（中学生以上） 26,000円(2,600円×10人)
- ・小 人 5,400円(1,800円×3人)
- ・幼 児（未就学児） 0円(無料 × 3人)

◆完全オーガニック味噌づくり

<参加費>

- ・会 員 6,900円(2,300円×3人)
- ・一般大人（中学生以上） 5,600円(2,800円×2人)
- ・小 人 2,300円(2,300円×1人)
- ・幼 児（未就学児） 0円(無料 × 1人)

<材料代>

- ・米麴、大豆、塩 20,000円(1kg分 1,000円×20セット)

<会員販売>

- ・当会オーガニック味噌 850円(1kg入り 850円×1セット)

(4)反省点・改善ポイント

ピザづくりは昨年度の反省を生かし、暑い8月から9月へ実施時期を変更。結果、参加者増に繋がる。定員20名としたがスタッフが3名では難しい部分も散見され、スタッフ増員も必要。

味噌づくりはリピーターが増えたものの、全体として参加者が減少。

効果的な集客を実施するために本人に直接対話する機会を作り、食育の重要性を明確に伝える事で計画的に個別参加を促す。また架電リストを作り定期的に声掛けをする。



⑦農作業の付帯業務・請負及び農具・土壌改良資材の製造、販売事業

本年度は実施せず。

⑧その他この法人の目的を達成するために必要な事業

本年度は実施せず。

3 事業の実施に関する事項(その他の事業)

本年度は実施せず。

4 その他 費用

(1)事務局管理費

1 総費用

総合計 109,881円

(内訳)

管理費の内訳

・印刷製本費	(管理)	230円
・通信運搬費	(管理)	27,148円
・消耗品費	(管理)	18,346円
・修繕費	(管理)	2,816円
・広告宣伝費	(管理)	14,562円
・租税公課	(管理)	17,439円
・支払手数料	(管理)	20,340円
・減価償却費	(管理)	9,000円

2 収益

総合計 348,262円

(内訳)

・受取入会金	1,000円
・正会員受取会費	60,000円
・団体・企業会員受取会費	10,000円
・受取寄附金	13,000円
・寮費	264,000円
・受取利息	262円

5 会議の開催に関する事項

(1)通常総会

・開催日及び場所

2024年(令和6年)6月16日 13時30分～14時00分

(場所)当会事務所(三重県松阪市大石町2841番地)

・議題

第一号議案 2023年(令和5年)度 事業報告および決算報告について

第二号議案 2023年(令和5年)度 監査報告について

第三号議案 2023年(令和5年)度 寄附金活用報告について

- 第四号議案 2024年(令和6年)度 事業計画(案)および活動予算(案)について
 第五号議案 2024年(令和6年)度 理事、監事(案)について
 第六号議案 2024年(令和6年)度 運営組織、役員選任(案)について

・総費用(無償ボランティア 3人)

総合計 4,740円

(内訳)

・印刷製本費 (管理) 1,040円

・通信運搬費 (管理) 3,700円

・収益

総合計 0円

(2)理事会

第1回理事会

・開催日及び場所

2024年(令和6年)6月16日 18時00分～18時15分

(場所) 当会事務所

(三重県松阪市大石町2841番地)

・審議事項

第一号議案 理事長および副理事長の互選について

第2回理事会

・開催日及び場所

2025年(令和7年)3月24日 14時00分～16時00分

(場所) 特定非営利活動法人 Earth as Mother事務所

(愛知県名古屋市中区千代田2-10-10-206)

・審議事項

第一号議案 2024年(令和6年)度 事業報告(案)について

第二号議案 2025年(令和7年)度 事業計画(案)について

第三号議案 2025年(令和7年)度 活動予算(案)について

第四号議案 2025年(令和7年)度 運営組織(案)について